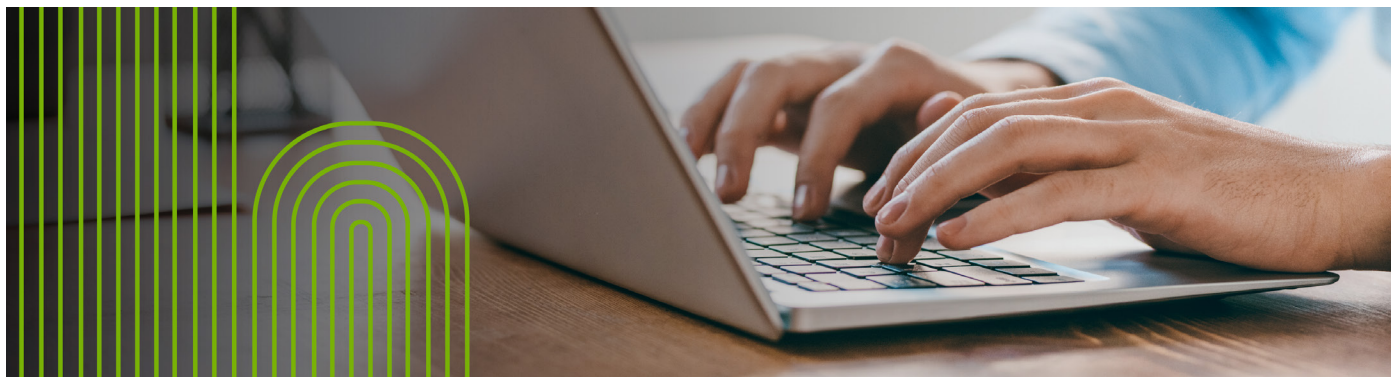


ネットワーキングを AIOps に移行すべき 8 つの理由



最新のマイクロサービスクラウド の実際のメリット

10 年以上前、無線ネットワークが誕生したとき、スマートフォンもタブレットも IoT もクラウドアプリも存在すらしませんでした。レガシー WLAN（無線 LAN）アーキテクチャは、無線クライアントの数が限られていて接続が便利な機能の 1 つだった旧来のネットワークの管理には最適でしたが、現代のモビリティの時代には対応できていません。レガシー WLAN アーキテクチャは、ネットワーキング用の AIOps をサポートするには、馬力にも相互位置情報データにもデータサイエンスにも欠けています。最新のマイクロサービスクラウドだけが、AIOps をサポートしてリアルタイムで分析を提供し、IT 運用チームの意思決定の速度と精度を向上させ、ネットワークやシステムのインシデントへの対応を可能な限り迅速化することができます。



導入を迅速化して ROI を向上

AI をグリーンフィールドシナリオにおけるキャンパスファブリックのオンボーディング、導入、トラブルシューティングに使用すると、Day 0 から Day 2+ までの運用を容易にし、それほど時間をかけずに実施することが可能になります。AI とインテリジェントな自動化を活用すれば、

少ないリソースで迅速にテクノロジーをオンボーディングでき、旧来よりも最大 90% 迅速化することが可能です。



ネットワークの複雑さを低減

AI はネットワークの異常を履歴とリアルタイムデータに関連付けることで問題の検出と分離を迅速に行うため、運用の複雑さを管理するうえで果たす役割の重要性がますます増えています。IT 運用チームは、さらに規模を拡大し、より戦略的でやるべきタスクに焦点を移すことができます。針の穴に糸を通すようなネットワークの問題を特定および解決するために必要なリソース集約型のデータマイニングに時間をかける必要がなくなります。



適応型の可視化

Wi-Fi を効果的に稼働させ続けるためには、事前対応でトラブルシューティングを行う必要があります。つまり、ユーザー、アプリケーション、IoT デバイス、ロケーションに関する情報を迅速に分析して何がどこで動作しているのかを正確に把握し、迅速な解決を実現するソリューションが必要です。



AIOPs (IT 運用のための人工知能)

AIOPs は、無線アクセスポイント、イーサネットスイッチ、ルーター、ファイアウォールなど複数のソースからデータを収集して、運用担当者がネットワークの問題をパフォーマンスに影響が及ぶ前に、また、ユーザーに気づかれる前に、事前対応できるようにサポートします。このデータにより、ネットワークの可視性の向上、トラブルシューティングの迅速化、ネットワークインシデント数の減少が、すべて人の介入なしで実現します。全体的には、AIOPs はユーザー生産性を向上させ、スタッフの作業時間を短縮し、最大 85% の OpEx の削減を実現します。



AI を活用したアシスタント

VNA (仮想ネットワークアシスタント) は、AI 搭載のデジタルネットワークエキスパートであり、IT 運用チームの一員としての役割を果たします。NLP (自然言語処理) をサポートし、対話型インターフェイスを備えた VNA が求められます。VNA は、運用を効率化し、トラブルシューティングのワークフローを迅速化し、製品や機能に対する具体的な質問に回答し、ネットワークに関する情報を提供し、あらゆるタイプのネットワークデバイスの検出をサポートする能力があります。また、データとログを調査して根本的原因を特定し、高い有効性のある答えをリアルタイムで提供します。



オープン API

API (アプリケーションプログラミングインターフェイス) を利用すると、タスクを自動化し、プログラムやデータベースを現行の業界アプリケーションに統合できます。API を使用して自動化を適用することで、複数のサイトの導入を迅速化でき、システムとデバイスを統合することで、異なるアプリケーション間での通信を可能にすることができます。統合されると、データのサイロ化を回避し、ビジネスプロセスを自動化できます。



エンドツーエンドのセキュリティ

現在、多くの在宅勤務やポップアップのネットワークサイトが使用されているため、脅威認識ネットワークがこれまで以上に必要とされています。どのユーザーとデバイ

スがお客様のネットワークに接続でき、何にアクセスできるかを制限することは、IT 資産を保護する際に極めて重要です。ゼロトラスト、アイデンティティベースのネットワークアクセス制御、フルスタックのポリシーおよびセグメンテーション割り当てにより、ゲスト、IoT、BYOD、および企業デバイスのオンボーディングを安全に実行できるソリューションを探してください。



マイクロサービスクラウドアーキテクチャ

WLAN、LAN、WAN、セキュリティの各領域全体にわたってネットワークの問題の根本的原因を特定できるようにすることは重要です。従来の無線 LAN ソリューションは旧式のアーキテクチャに依存しており、今日の多様な企業ニーズに対応するために必要な拡張性、信頼性、および俊敏性に欠けています。AI ドリブンによる自動化機能とインサイト機能を備えたマイクロサービスクラウドの柔軟性と依存性を活用して、自動運転処理により、ネットワーク運用を事後対応のトラブルシューティングから事前対応の修復へと根本的に変革します。適切なソリューションは、リアルタイムのインサイトを提供して、モバイルユーザーとデバイスが体験している正確なパフォーマンスとサービスレベルを把握できるようにします。また、ユーザーセッションに悪影響を及ぼす前に問題を修正する是正措置を自動化します。

SELF-DRIVING NETWORK への移行

AIOPs は、運用の簡素化を推進し、IT のトラブルシューティングを事後対応から事前対応に転換します。仕事の始まりと同時に確認するビューでは、組織レベルで大きな影響を及ぼすネットワークの問題を可視化でき、管理者はその日に優先的に取り組むべきことを正確に把握できます。適切な AIOPs ソリューションを導入すれば、手動で行っていたトラブルシューティングをなくし、時間と労力の大幅な削減を実現するとともに、ユーザー、デバイス、クライアントの全体的なエクスペリエンスを向上させることができます。